

Weekly Report

2009~2010年度



我が百合丘ロータリークラブのシンボルは百合の花。百合には「清く正しく」の意があり、この多岐にわたる活動の中で、知る他の花よりも、清く正しく、そして、心豊かに生きていくことを目指す。清く正しく、そして、心豊かに生きていくことを目指す。清く正しく、そして、心豊かに生きていくことを目指す。

作者の言葉

平成22年4月14日(水)
第1532回例会

会長 田内 三和
幹事 安藤 志子
会報 関山 秀男

川崎百合丘ロータリークラブ ホームページ <http://www.kawasaki-yurigaoka-rc.jp/>

第1532回例会記録 平成22年4月14日(水) 36/45回

国際ロータリー第2590地区 2009~10年度
四クラブ合同例会

【登録開始】 17:00 受付各RC事務局

【点鐘】 18:00

【ソング】 ソングリーダー 川崎百合丘RC 渡邊辰夫
君が代 それでこそロータリー

【お客様ご紹介】【来賓挨拶】

川崎百合丘RC会長 田内三和

池袋西RC 平井憲太郎様

ガバナー補佐 川崎百合丘RC 野島敏昭様

次年度ガバナー補佐 川崎多摩RC 鈴木彬道様

【4クラブ会長・幹事紹介】 川崎百合丘RC 鈴木文夫

【4クラブ会長代表挨拶】 川崎百合丘RC 田内三和

【会長・幹事報告】【各委員会報告】 ニコニコ・出席
(発表順 多摩、百合丘、稲生、麻生RC)

＜当クラブ会長報告＞ 田内会長

1. 川崎稲生RCより、20周年記念式典が無事に終わり、ガバナー補佐、会長、幹事にお礼状が参りました。
2. 前回の例会でもお願いしました、2010年インターアクト役員研修会の出席をお願いいたします。締切が迫っておりますので、現会長・幹事、次年度会長・幹事、インターアクト委員長、新世代担当委員長、今週中に事務局迄よろしくお願いたします。
3. 川崎北RCより、創立50周年記念式典のお礼状が参りました。
4. 川崎・しんゆり芸術祭 実行委員会事務所より、白井委員に、実行委員会報告がきております。

5. 川崎・しんゆり芸術祭 オペラのご案内がきております。オープニングパーティーは4/24(土) 18:00、昭和音楽大学にて、会費3,000円。

＜幹事報告＞

安藤志子幹事

- *文書着 川崎高津南RC
- *会報着 新川崎RC 川崎日吉RC 川崎RC
- *その他 ロータリーの友、英語版が参りました。ご覧になる方は事務局まで。

＜ニコニコ委員会＞

佐々木委員

安藤志子幹事→「今日は5年ぶりの四クラブ合同です。ありがとうございます」。田内会長、安藤登会員、安藤亨会員、井上勇会員、伊丹会員、伊藤会員、嶋志田会員、北島会員、中島健児会員、中島眞一会員、中村会員、野島会員、佐藤会員、関山会員、嶋会員、鈴木会員、玉井会員、確井会員、渡邊会員、山口篤会員、山口福枝会員、結城会員、佐々木会員。

＜出席委員会＞

	会員	出席	欠席	マーク	出席率
第1532回	42※	30	12		71.43%
第1531回	42※	30	12	8	90.48%

*出席免除会員1

＜ニコニコ・財団・米山委員会＞

	今回		累計	
ニコニコ	24件	24,000円	928件	1,021,000円
財団	0件	0円	38件	370,000円
ベネファクター	0件	0円	2件	180,000円
米山	0件	0円	36件	464,700円

- 第1534回 4月27日 会員卓話
- 第1535回 5月11日 クラブフォーラム
- 第1536回 5月18日 招聘卓話

※諸事情により、スケジュールは変更になる場合があります。

【点鐘】 18:30

【講演】 18:40 講師紹介 川崎稲生RC 中村一郎
講師 池袋西RC 平井憲太郎様
「フリーターからロータリーへ」

祖父・江戸川乱歩は1894年10月、三重県名張市で生まれました。本名・平井太郎です。私の話の中で決定づける言い方が多いのですが、それは祖父が人一倍自分の履歴にこだわりが強く、祖父自身、詳しい歴史を残しているからです。

1897年～1912年まで名古屋で暮らしていますが、この頃から本に興味を持っておりました。1916年、早稲田大学政治経済学部を卒業します。その頃は経済行動、心理に興味があったそうです。

大学卒業後は大阪の商社に就職をしましたが、飽きっぽい性格なのか、1年ほどで辞めてしまい、転々と職を変え、今で言うフリーターの状態でした。名張で生まれて、池袋で亡くなるまで46回引越しをしました。本が好きなのは、曾祖母の影響です。英語に長けていたので、洋書の推理小説に興味を持ち、アメリカの推理小説家、エドガー・アラン・ポーを文字って江戸川乱歩という名前をつけたそうです。

大学を卒業して職を転々としている間に、台東区本郷・団子坂で古本屋を開業し、その頃、以前鳥羽で知り合った女性、村山隆子と結婚することになります。

大阪・守口に転居し、そこで短編小説を書き溜めていました。子どもも生まれ生活のために、祖父はまた働きだしました。大阪毎日新聞の広告部に勤め、営業のセンスはあったようです。評論家の馬場狐蝶先生に原稿は送ったものの読む暇なく戻され、その原稿をそのまま「新青年」の編集部に送り、処女作を載せてもらうことになりました。小酒井不木先生にお墨付きをもらい作家になる決心をします。何本かの書き溜めもあったため3年くらいはうまくいっていましたが、その後ネタ切れになるも愛読者が多く、平凡社から全集を作ることになりました。そこで得たお金を使い早稲田で下宿屋を開業しますがそれも一時のものでした。

1936年頃、今まで短編中心でしたが長編にシフトチェンジし、途中執筆をやめる期間を経ながら、初の少年物「怪人二十面相」が「少年倶楽部」に連載されます。想像以上に子ども読者からの支持が大きく、単行本もよく売れました。旧作「芋虫」では、検閲にひっかかり全面削除を命じられます。仕事のない時期が続いた後、自分の一生をスクラップブックにまとめます。

人嫌いで有名でしたが徐々に地元活動に目覚め始

めます。1945年に福島県保原町に疎開し、終戦を迎えます。戦争空襲で、池袋全域焼け野原だったにも関わらず、立教大学横の自分の家だけは残っていたそうです。終戦直後に旧作が売れ始め、現金収入を得て、そのお金で古本屋の海外ミステリーを買いあさりしました。その後、探偵作家というジャンルに力を入れ、評論活動をしたり、若い作家を連れ出しミステリーを一勧めしてみたり、戦後は推理小説を世に広めることに熱中します。

祖父は、1959年にできました東京池袋RCのチャーターメンバーでもありました。チャーターメンバーには大正製薬の上原明さんや西武の堤康次郎さんなどがいらっしやいました。27、8人で始めたロータリーに入れたことをすごく喜んでおりました。その後病気がちになったので、一年ほどでやめ、1965年に亡くなりましたが、ロータリーを楽しんでいた様子が、書類を通して残っております。



【お礼の言葉】 19:30 川崎百合丘RC 田内三和
～休憩 諸事お知らせ～

【懇親会】 19:35

司会進行：川崎百合丘RC SAA委員会 佐藤進

【開会の言葉】 川崎多摩RC会長 古谷欣治

【会長挨拶】 川崎稲生RC会長 上原謙一

【乾杯】 川崎麻生RC会長 大野勉

【次年度会長・幹事紹介】

川崎百合丘RC SAA 佐藤進

【閉会挨拶】 川崎百合丘RC幹事 安藤志子

【ソング】 手に手つないで

ソングリーダー 渡邊辰夫

